

鍛えるチャンスは

A 年賀状は必要ないと私は考えます。

毎年忙しい年末に年賀状を書くのは大変だし、デザインを考えるのが面倒です。はがき代はどんどん高くなっていて、もったいない気がします。文面も、毎年毎年同じだからおもしろくありません。

B 年賀状は必要ないと私は考えます。

スマートフォンやパソコンの普及により、SNSやメールを通して新年のあいさつや互いの情報が交換できる時代になりました。そちらの方が、年賀状より手間も時間も、そして経費もかかりません。

AとBでは、どちらの方が「納得」できますか。Bの方ですよ。Aを選択した人は、「納得」ではなく、「共感」したのです。つまり、同じ思いをもったということです。「納得」と「共感」は別物です。

Aを選んだ人は、Bについて反論しにくいでしょう。しかし、Bを選んだ人の中には、Aに反論したくなる人が結構いるはずですよ。

「思うのは自由だけど、私はそんなふうに思わない」という声が聞こえてきそうですね。

Bを「論理的な文章」と言います。「論理的」というと難しそうですが、「理由を論じた文章」ということです。一方、Aはというと、「感情的な文章」と言えるでしょう。感情は一人一人違うので、「それ、わかる！わかる！」という人はいるでしょう。しかし、「なるほど」というレベルからはずいぶんかけ離れていると言えます。

昨日の一次選抜の問題を見ましたか。私は国語の問題を朝刊で確かめました。最後の問題は、配点10点。高得点が稼げる問題ですよ。一、二年生の皆さんも、今後のためにぜひ見てください。

この問題は、文章の書き方と、論理的な思考を確かめる問題ですよ。誤字脱字や文法上の間違いがないこと、段落を作ること、知識や要領さえ身に付いていれば心配ありません。しかし、論理的思考については、普段から鍛えてないと、いざという時に発揮できません。では、それをいつ鍛えるか……それは日常ですよ。授業で発言するとき、ノートにまとめるとき、仲間に連絡をするとき、面談で答えるとき……毎日が論理的思考を鍛えるチャンスにあふれています。あなたはそのチャンスをものにしていますか。

新聞には模範解答が掲載されています。私だったので、「私だった」というものを載せておきます。ご参考までに。

掲示するとしたら、Bが適切である。

標語である以上、読み手や聞き手の印象に残りやすくなければならない。「声かけ」「協力」「キレイ」という言葉が、掃除の一連の流れを示している。そのことが、集団としての取り組みを強く印象付けている。

(三月四日記)